

1. 本園の教育目標

- ・礼儀正しい明るい素直な子
- ・丈夫な身体の子
- ・思いやりのある子
- ・考える子
- ・表現の豊かな子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

安全安心な保育活動、教育活動の質の向上に努める。

年間を通して外国人のネイティブスピーカーを英語教師として招き、無理なく英語を楽しむ。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

評価項目	評価	取り組み状況
外国人講師による 英語レッスン	A	幼児期から英語を身近に感じ外国語に対する抵抗感をなくす。耳から英語を楽しめるよう、歌やダンスを取り入れコミュニケーション能力の向上、異文化への関心も深める。

4. 総合的な評価結果

評価…B

理由…広い園内でのびのびとした生活で個性を伸ばし、心身ともに丈夫に育つよう過ごしやすい環境づくりができた。季節行事などを通じて日本の文化を経験し興味や関心を持てるよう保育に取り組み、積極的に英語教育も取り入れ会話力を重視し表現力やコミュニケーション能力を高めた。今回の取り組みで英語教育の重要性を再認識でき、引き続き継続的な取り組みが必要と思われる。

5. 今後取り組む課題

- ・教育課程・指導の計画の充実

安全安心を最優先とし寄り添える保育、質の高い保育を充実させるために教育環境の整備と教職員の資質向上に努める。英語教育の継続、図形、指先能力を高める教育も多く導入し思考力や集中力の向上にも努めたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

広い園庭で遊び学ぶの集団生活を通じて相手を思いやる心、体力の向上がみられ主体的に活動するようになってきた。生活のなかでも英単語や英語の歌を口ずさむようになり異文化への興味関心の幅が広がった。保育指導内容がより充実したように思え効果的だ。マスク生活を経て表情、感情の学習経験不足の心配もなくなりつつあり感性豊かになってきている。

引き続き子どもたちが安全に楽しく園生活を送れるよう保育の質の向上に努めてほしい。